



平成31年1月31日

国土交通省中部地方整備局

平成30年度 手づくり郷土賞^{ふるさと}(国土交通大臣表彰)の認定証授与式を開催！
～「美濃和紙あかりアート展」が一般部門に認定されました～

国土交通省では、社会資本と関わりをもつ地域づくりの優れた取組を「手づくり郷土賞^{ふるさと}」として表彰しております。

■平成30年度 手づくり郷土賞^{ふるさと}(一般部門) 認定証授与式

受賞案件名	美濃和紙あかりアート展
受賞団体	美濃和紙あかりアート展実行委員会
認定証授与式	日時：平成31年2月7日(木) 10:30～11:00 場所：美濃市役所 防災中央コミュニティセンター 2階 大会議室 岐阜県美濃市1350番地 出席予定者：美濃和紙あかりアート展実行委員会 美濃市観光協会 美濃市長、中部地方整備局長

添付資料：資料1 受賞案件及び団体の概要

配布先：中部地方整備局記者クラブ、岐阜県政記者クラブ、中濃記者クラブ



写真：美濃和紙あかりアート展の状況

〔問合せ先〕中部地方整備局企画部企画課 建設専門官 中島 康支、係長 前田 千
TEL 052-953-8127 FAX 052-953-8294

美濃和紙あかりアート展

① 社会資本の概要

「美濃和紙あかりアート展」の会場となる「うだつの上がる町並み」は、かつては六街道が放射線状に延びる交通の要であり、長良川による舟運により物資の集積の地となり、紙商など商家の町として発展しました。東西280間の2筋の通りと南北70間の4筋の横町からなる「目の字通り」には、防火壁の機能とともに権威の象徴として商人が競って豪華に飾った「うだつ」が今なお残り、落ち着いた佇まいと様々な商家の営みが息づいています。特に、平成11年国の重要伝統的建造物群保存地区の選定を受けた後、国土交通省のまちづくり総合支援事業により電線類地

中化及び道路修景が行われ、より風情ある町並の景観へ移りかわりました。更に、まちづくり交付金により観光多目的広場や駐車場が整備されたことで慢性的な駐車場不足を補い、観光客の誘客に弾みがついていきました。



うだつの上がる町並 (電線の地中化、道路修景整備)

② 取組の背景、取組概要と創意・工夫

平成初期の「うだつの上がる町並み」一体は時代に残された閑散とした町並みとなっており、衰退が危惧されていました。そこで、「周回遅れのトップランナー」となるべく、美濃ならではの、洗練されたイメージを創出し、活気ある町並みにするための新しいコト「美濃和紙あかりアート展」を美濃市政40周年のタイミングで始めました。

「美濃和紙あかりアート展」は1300年

の伝統がある美濃和紙を使ったあかりのオブジェを全国公募し、応募があったすべての作品をうだつの上がる町並みに展示することで、町並み一帯が明かりに照らされ幻想的な景観を生み出します。また、作品は出品者が自ら会場へ来場して展示することを原則としており、応募者自らにあかりアート展を体感してもらうとともに、宿泊などにより周辺施設等への経済効果も出ています。



美濃和紙あかりアート展



展示風景



会場風景

美濃和紙あかりアート展実行委員会

③活動の成果や波及効果等

「美濃和紙あかりアート展」の実施に当たり、中学生から社会人までの地元のボランティアが400名以上活動しており、地域一体となった取り組みとなっています。国内では東京、愛知、奈良等、海外ではイタリア、韓国、台湾のイベントにおいて作品を展示し、また、「全国あかりサミット」の開催を提唱し、日本各地のあかりイベントと交流をするなど、各地との絆を深めるとともに、「美濃和紙あかりアート展」のブランド構築をしています。



ボランティア(高校生)による作業



目黒 ホテル雅叙園
「和のあかり×百段階団」



美濃和紙あかりアート展
inアマルフィ大聖堂

喜びの声



<受賞者>

美濃和紙あかりアート展実行委員会
委員長 田代智亜紀

<コメント>

平成30年に第25回目の美濃和紙あかりアート展を開催することができました。この1/4世紀の間に、会場の「うだつの上がる町並み」では、観光客や店舗が増加、本美濃紙は、ユネスコ無形文化遺産に登録され、美濃への注目が一層高まりました。今後も市の発展の端緒となるよう、活動を継続していきたいと思っています。

<活動内容>

美濃和紙あかりアート展の開催
国内外での作品展示など

<活動の経緯>

平成 6年 第1回開催
平成13年 第6回ふるさとイベント大賞
受賞(総務大臣賞)
平成20年 第1回ティファニー財団
伝統文化大賞受賞
平成21年 第26回地域づくり表彰
日本政策投資銀行賞受賞
平成30年 GOOD DESIGN賞受賞

◆所在地

岐阜県美濃市うだつの上がる町並

◆活動主体及び連絡先

美濃和紙あかりアート展実行委員会(0575-33-1122)

<https://www.akariart.jp/>

◆対象となる社会資本

岐阜県美濃市うだつの上がる町並み一帯
(美濃市美濃町伝統的建造物群保存地区内)

※管理者: 美濃市



◆手づくり郷土賞の概要

地域の個性・魅力を創出し、良質な社会資本及びそれと関わりをもつ優れた地域活動を広く募集・発掘し、これらを全国に広く紹介することにより、個性あふれ活力ある郷土づくりに資することを目的として、昭和61年度に創設された国土交通大臣表彰制度。平成30年度で33回目。

【一般部門】

はじめて「手づくり郷土賞」の受賞を目指す団体から表彰

【大賞部門】

過去に「手づくり郷土賞」を受賞し、その後の活動が拡充した団体を表彰

(参考) 平成30年度手づくり郷土賞応募要領は以下のURLをご参照ください。

<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/teдукuri/entry/boshuu/bosyu.pdf>

◆手づくり郷土賞選定委員会

有識者からなる手づくり郷土賞選定委員会により、幅広い観点から審査し選定します。

手づくり郷土賞選定委員会（平成30年度）

委員長	鈴木 伸治	横浜市立大学国際総合科学部 教授
委員	河野 まゆ子	株式会社JTB総合研究所 主席研究員
委員	関 幸子	株式会社ローカルファースト研究所 代表取締役
委員	田中 里沙	事業構想大学院大学 学長
委員	平野 龍平	富士急行株式会社 社長室アドバイザー
委員	福井 恒明	法政大学デザイン工学部 教授

(敬称略)